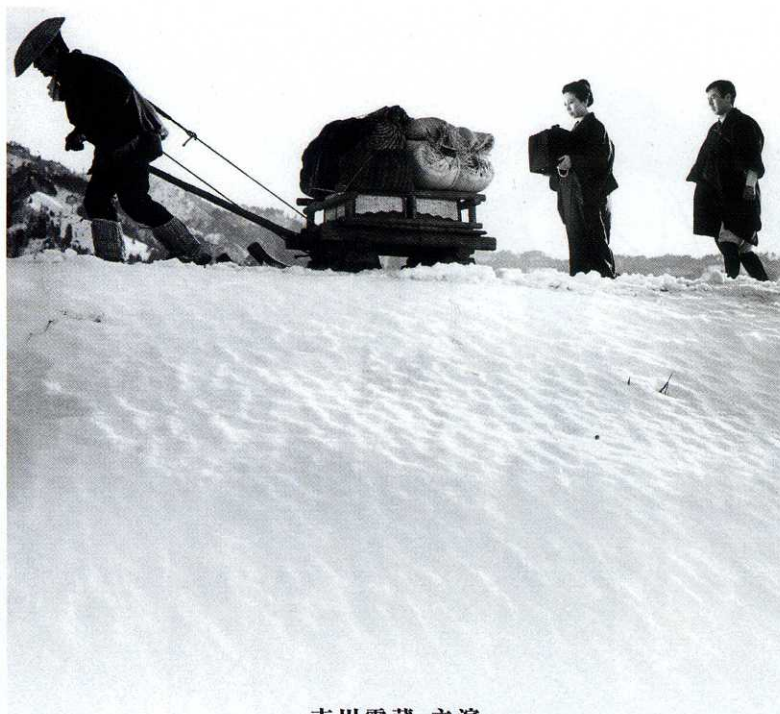


# 人権問題講演会

日時 11月9日(金)18:00~20:30  
場所 コムズ・5階・大会議室  
内容 映画上映「破戒」(1962年・大映作品)  
講演「映画のまなざし」  
静岡大学教育学部  
教授 黒川みどり先生



市川雷蔵 主演

## 破戒

RAIZO ICHIKAWA  
HAKAI

市川 崑 監督

©1962角川映画

Do



主催: NPO法人「Do」(松山市委託事業)

後援: 松山市教育委員会・松山市公民館連絡協議会・松山市人権教育推進協議会  
愛媛新聞・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・FM愛媛・あいテレビ  
愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・リビングまつやま



## 映画「破戒」1962年大映作品

主演:市川雷蔵 監督:市川 崑 原作:島崎藤村

### あらすじ

信州飯山の小学校教員・瀬川丑松は父の死に際して、被差別部落出身の素性を誰にも明かさないと誓う。部落民解放家の猪子蓮太郎を敬う丑松は、彼から「君も一生卑怯者で通す気か」と問いつめられても、ひたすら身分を隠す。だが、丑松が部落民であるという噂がどこからか流れてきた…。

### みどころ

差別が生んだ日本の悲劇を、鋭い文明批判を込めて描いた文芸巨編。島崎藤村の同名小説の映画化は、木下恵介監督の松竹版(1948)について2度目。東宝争議で企画が流れた幻の阿部豊版の助監督であり、前年に市川染五郎(現・松本幸四郎)主演のテレビドラマ版の演出も手がけた市川崑監督が務め、主演は『炎上』(1958)、『ぼんち』(1960)に続くコンビの市川雷蔵(当時 30 歳、95 本目の映画)。雷蔵の熱演で、主人公の激しい苦悩が伝わる青春映画としての側面もある。宮川一夫の美しいロケーション撮影、芥川也寸志の風格ある音楽も魅力。共演は長門裕之、三国連太郎、杉村春子、岸田今日子ら豪華な共演陣に加え、原作者と役名から芸名をつけた藤村志保が初々しいデビューを飾った。



©1962角川映画

### 映画のまなざし

ふたたび「破戒」の映像化がなされるのは1961年のことであり、1960年に政府が同和対策審議会を設けたことを受けて、部落解放同盟は「部落解放要求貫徹」を掲げてさらに運動を高揚させていた。それに伴って社会的にも部落問題に対する関心が高まっていた時期であり、テレビドラマや映画が作られたのもそうした状況を背景にしてのことであつたと考えられる。

そして、当該時期の部落解放同盟は差別意識を生む社会を根底から覆すべく戦闘的な運動を展開しており、差別を是認して丑松が謝罪をするのみの展開では、被差別当事者も納得できるものではなかつたであろう。

黒川みどり著「描かれた被差別部落」より